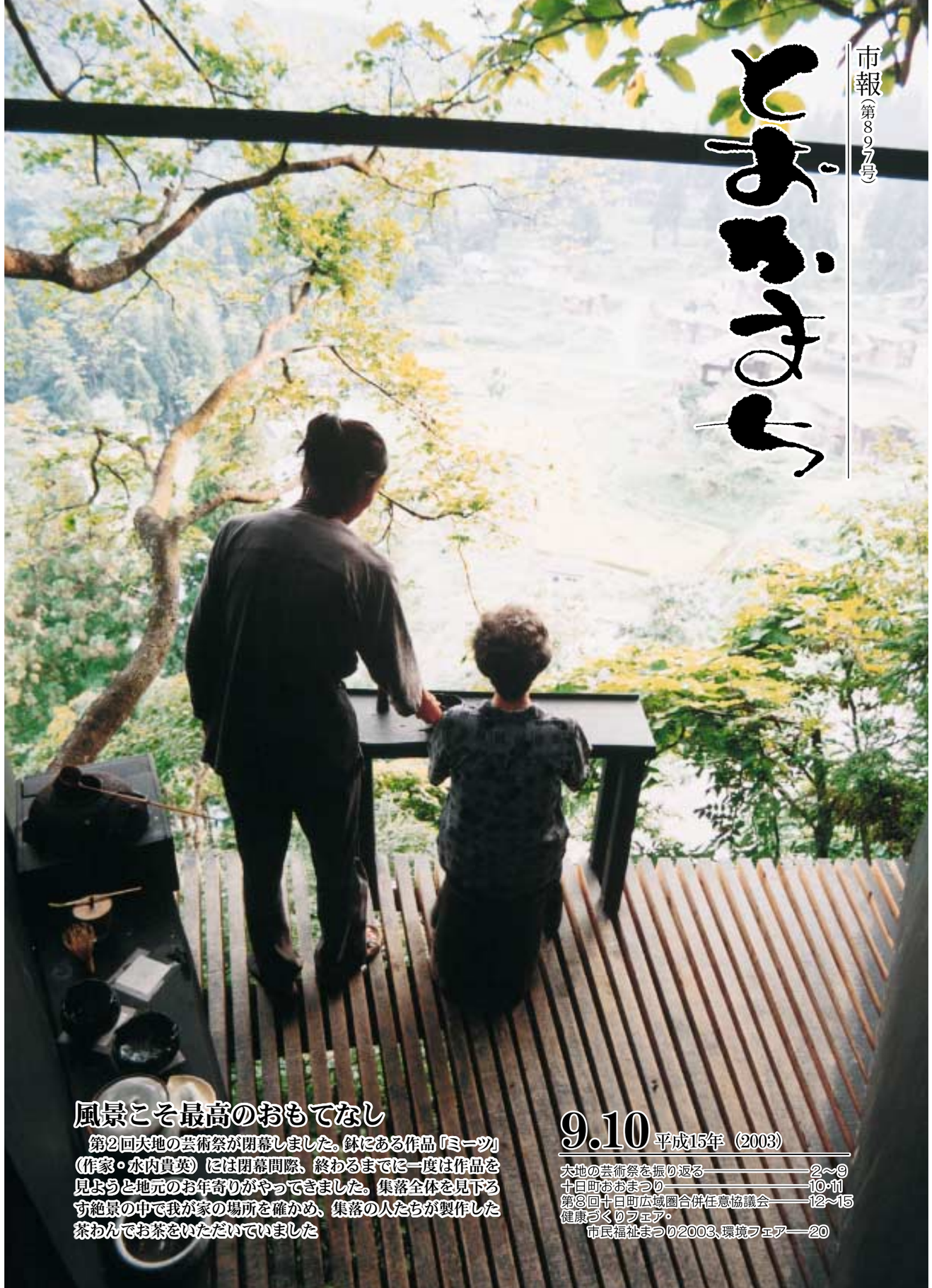
とおかまち

市報（第897号）



風景こそ最高のおもてなし

第２回大地の芸術祭が閉幕しました。鉢にある作品「ミーツ」（作家・水内貴英）には閉幕間際、終わるまでに一度は作品を見ようと地元のお年寄りがやってきました。集落全体を見下ろす絶景の中で我が家の場所を確かめ、集落の人たちが製作した茶わんでお茶をいただいていました

9.10 平成15年（2003）

大地の芸術祭を振り返る――――――――2～9
十日町おおまつり――――――――10・11
第３回十日町広域圏合併任意協議会――12～15
健康づくりフェア・
　市民福祉まつり2003、環境フェア――20

特　集

アート輝いた夏の50日間

～第2回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2003～

３年に一度の真夏のアートの祭典「第２回大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ２００３」が50日間の会期を終え、幕を閉じました。今回は、59もの作品が市内で展開されたことや、市民の理解が深まってきたこともあり、前回よりも大変盛り上がったものとなりました。市民や作家、こへび隊など参加者の声をもとに第２回大地の芸術祭を振り返ります。

古郡　弘「盆景-Ⅱ」
（下条中峰スキー場付近）

大地の芸術祭ってなあに？

大地の芸術祭とは、「ニューにいがた里創プラン」（※かいせつ参照）の第１号の地域指定を受けた「越後妻有アートネックレス整備事業」（※かいせつ参照）のメイン事業であり、３年に一度開催される壮大な野外アートイベントです。十日町圏域６市町村（十日町市・川西町・津南町・中里村・松代町・松之山町）７６２㎢の雄大な大自然を屋外美術館に見立て、さまざまなアート作品が至る所に展示される、世界的にも大変注目されている事業です。

目　的

大地の芸術祭の目的は、地域が持つ自然の美しさや素晴らしさを、アートを通してたくさんの人に知ってもらうことです。そして地元の人からも、自分たちが気付いていない地域の魅力や、かけがえのない自然の財産を再認識し、地域に対する誇りと愛着を持ってもらおうというものです。

芸術祭に出展される作品は、その作品にとって最もふさわしい場所に設置されます。地元住民と話し合い、協働作業をしながら完成した作品は、季節や天候によって表情を変える自然を舞台に光り輝くものとなっています。

会期・来訪者

第１回は、２０００年７月20日から９月10日までの53日間行われ、約16万３、０００人の来訪者がありました。今回は、２００３年７月20日から９月７日までの50日間行われ、来訪者は目標の20万人を突破しました。

かいせつ

●里創プランとは…

「理想の里創り」をめざしたいという平山新潟県知事提唱のもと、平成６年から実施されている新潟県独自の施策「ニューにいがた里創プラン」のことをいいます。

里創プランは、個々の市町村が取り組むのではなく、広域連携に軸足を置いており、お互いの足りない部分を補い合うことを大切にしています。ここ十日町圏域では、アートを切り口とした地域振興プロジェクト「越後妻有アートネックレス整備事業」が、里創プラン第１号の地域指定を受けました。

現在、当圏域以外に５地域で、次のとおり個性的な取り組みが行われています。

・五泉地域「阿賀ライン交流圏プロジェクト」・新井頸南地域「妙高四季彩博物園」・岩船地域「都岐沙羅ふれあいのまち」・柏崎地域「スマート・リンク・プラン」・糸魚川地域「『奴奈川姫の里』変身劇場」

●越後妻有アートネックレス整備事業とは…

十日町圏域がアートを具体的な手法として、魅力ある地域づくりを行い、それぞれの特性を数珠のようにつなげることで、地域全体の情報発信力を高めていこうというものです。この整備事業は次の４つで構成されています。

①ステキ発見事業…写真と言葉を使って、地域資源を再発見していこうというフォトコンテスト（平成11年終了）

②ステージ事業…地域のテーマに沿って各市町村に整備される総合的な活性化拠点施設
- 十日町市：十日町ステージ
  越後妻有交流館「キナーレ」
- 川西町：光の館
- 松代町：松代ステージ「農舞台」
  まつだい雪国農耕文化村センター
- 松之山町：松之山ステージ
  越後松之山「森の学校」キョロロ

③大地の芸術祭…３年ごとに開催（トリエンナーレ）するアートの祭典

④花の道事業…ステージや大地の芸術祭作品間をつなぐ道路を花で彩る取り組み

７月12日(土)にオープンした十日町ステージ越後妻有交流館「キナーレ」

今回の特徴

今回は、世界23か国から１５７組のアーティストが参加し、前回から残る67作品を含めると２２４作品が鑑賞できました。野外作品のほかに建築・映像が新たに加わり、芸術の間口を広げ、幅広い層を取り込んだイベントになりました。

①野外作品

前回同様に、里山や棚田、空き家などに作品を展示しました。

②建　築

第２回大地の芸術祭の開幕に合わせて完成した十日町市、松代町、松之山町の３ステージは、建築界も注目する建物です。雪国の建物というイメージを一新する造りは、インパクト十分です。３ステージそれぞれが違う顔と性格を有しています。

・十日町ステージ：「市」
　：人、もの、情報の交差
・松代ステージ：「農業」
　：都市と農村のつながり
・松之山ステージ：「地球環境」
　：里山での遊びを通して学ぶ

③映　像

約４００の公募作品の中から28に絞り込み、期間中「短編ビデオフェスティバル」と銘打って十日町圏域内24か所で上映しました。上映場所は、映画館のように密閉された空間ではなく、リラックスした雰囲気の中で鑑賞できるよう、人々が日常の中で通り過ぎていく駅や食堂などを利用しました。また、一般作品の中でも映像を使って夜鑑賞できるものもありました。

◆作家・水内貴英さん

美術を使って何かやろうという大地の芸術祭のコンセプトが、美術を使って何ができるんだろうと思っていた僕にとってすごく興味のあるものでした。そして、どうなるかわからないけど、何かできるかも知れないと思って前回こへび隊に参加しました。

今回、鉢集落に１年間住み、１軒１軒家を回ってお茶わんをいっしょに作って、いっしょに酒飲んだり焼き肉したりしていく中で話しをして、お互いが話し合うことによって自分のことをわかってもらっていったんです。逆にいろいろなことを教えられました。大地の芸術祭というのは作品も大事ですが、その過程も大事なんじゃないかなと思います。

大地の芸術祭で、いろいろなことを学んだと思います。2000年のこへびのころは、何もわからず美術をかじり始めたばかりでした。アートって何だろうと悩んでいたころからいろんなことを教えられた気がします。そして今でもいろんなことを教えられ続けています。自分にとって大地の芸術祭は、大事な人生の１ページでもありますが、大事な先生です。

地域と作家の協働

今回市内には、59もの作品が展開されました。そのうち多くの作品が、作家と地元の人たちとの協働作業によりいっしょに創りあげた作品です。作家の中には、戸籍や住民票を地域に移して作品制作にあたった人や１年以上にわたり地域に住み込み住民との対話を重ねて作品を創りあげた人、十日町に関する書籍を何冊も何冊も読破し地域を調べ上げた人などもいました。市内では、作品制作やワークショップなど何かしらの作品にかかわった人が非常に多く、それぞれ思い入れの深い作品があったと思います。

また、子ども向けの作品やワークショップも数多く展開され、子どもたちは普段体験したことのないアートの世界にふれることができました。

さらに今回は、大学のゼミや研究室の作品が多かったことも特徴の一つです。参加した学生たちにとって、大地の芸術祭は貴重な発表の機会であると同時に、ほかの学校の学生や地域の人たちとふれあうことのできる数少ない場でした。地域の人にとっても、若者と交流を持つ良い機会となりました。過疎化の進む地域では久しぶりに若い人の声が響き、市街地では若者の斬新な発想が大きな刺激となりました。

かいせつ

◆４ページ：前回こへび隊として参加した作家・水内さんは、その後の作品公募に当選し、今回は作家として参加。集落に１年以上住み込み、住民と協働で作品を作る。鉢集落にある作品「ミーツ」は、集落を見渡すツリーハウスの上で住民手作りの茶わんでお茶を飲み、質問に答えるというもの。鉢は吉田地区にある64世帯の集落。

◆５ページ：東京生まれの作家・彦坂さんが田麦集落に本籍と住民票を移し、廃屋をミュージアムにして移住。それまで41戸だった集落を42戸にした戸籍移動作品「田麦集落42戸物語」。ミュージアムの中には農機具や住民の一番大切なものを借りて展示。近くの茶屋でトマトそばやトマトアイスクリームを提供。田麦は六箇地区にある集落。

◆６ページ：日本工業大学小川次郎研究室＋黒田潤三は、鍬柄沢集落に昨年開通した大沢山トンネル出口のポケットパークに、もみ殻で作ったモニュメント作品「モミガラ・パーク」を制作。中には集落の人も思い出の品を入れる。鍬柄沢は水沢地区にある13世帯の集落。

◆６ページ：工学院大学藤木隆明研究室は、昭和町通りなど４つの通りの電柱に布をかぶせる作品「十日町に服を着せようプロジェクト」を制作。カラフルな「服」は通る人の目を引き、好評を博す。

彦坂尚嘉
「田麦集落42戸物語」

◆作家・彦坂尚嘉さん
◆福崎邦昭さん（66歳・田麦）

彦坂　マスコミに取り上げられたこともあり、想像以上に反応がありました。一つは住民票や戸籍を動かしたことが、何かを伝達させたのでしょう。もう一つトマトそばを作ったことも良かったです。集落の人も積極的に参加してくれるポイントになりました。集落の人がトマトそばのチラシを作って田麦の周辺部に配ってくれたのですが、皆さんおそばを食べに来てくれて、作品を見ていったんです。アートを見に行くっていうのは違和感があって、どこか恥ずかしさがありますよね。でも、おそばを食べに行くことは、スムーズに行動を起こせるじゃないですか。

福崎　トマトそばと聞いたときは思わず考えましたね、どうやって作るのだろうと。ただ、実際に試食してみると、これはいけるなと思いましたよ。夏にはいいなと思いました。

彦坂　もともとトマトアイスはあったんですが、田麦にはそばがあるので、名産のそば自体を作品にしてしまおうと、トマトと組み合わせたそばを作っていただきました。

福崎　たくさんのお客さんが来てくれたこともあり、ずいぶん地域の活性化になりました。今回、田麦茶屋を始めるにあたり、いかに受け入れ態勢を整えるかが重要でした。平日は老人クラブや婦人会にお願いしました。すると、平日は仕事で顔を出せない人も、土日は手伝ってくれるようになったんです。もともと婦人会や老人クラブの協働精神はあったのですが、さらに一層強まりました。

彦坂　今回の作品は、自分の作品の中でも集大成的なものになりました。大変だったけど、大きな一区切りの仕事でした。晩年の仕事への一里塚になるんじゃないでしょうか。

福崎　十日町だけでなく日本全国、さらには外国からも来てくれ、こういうところがあると言うことを知ってもらったことは良いことだと思います。ここにアートがなければ、田麦の人たちも大地の芸術祭なんて興味を持たなかったでしょうし、こうして作家の先生やお客さんとふれあうこともなかったでしょうから。

White & Base（平野治朗＋斉藤精一）
「大地の灯り 十日町きもの流し GINGA」
期間中、４回行われました

◆こへび隊　小松原朋子さん
（21歳、埼玉県）

「大地の灯り 十日町きもの流し GINGA」の準備では、空気が逆流しない弁や中に仕込んだ豆電球など風船一つひとつが手作りなので、苦労しました。また、限られた人数で期限までにおよそ3,000個以上作るのは大変でした。

作品のイメージは頭の中にありましたが、実際に見ると本当にきれいでした。そして地元の人に喜んでもらえたことが何よりもうれしいです。毎回ゆかたを着て、風船がなくなるくらい参加者がたくさん集まってくれました。実際に実施するまでは、地元の人との交流なんて想像できませんでした。地元の人とのふれあいは楽しく、地元の人といっしょに作品を作れたことが一番おもしろかったです。

きもの流しを実施して、十日町って明るくていいなあ、元気だなあと思いました。芸術祭をやる地域は過疎化が進んでいると聞いていたので、元気なイメージはありませんでした。しかし実際は、みんなが十日町を良くしていこう、集落で盛り上がっていこうというものをすごく感じました。都会よりもみんながまちのことを考えているなあという印象を受けましたね。

中心市街地活性化

今回第２回大地の芸術祭を中心市街地活性化の起爆剤にしようと、商工会議所が「十日町市中心市街地事業推進委員会」を発足させました。推進委員会は「商店街」「きもの」「料理宿泊」などの５部会からなります。市街地の４つの通りで行われた「大地の灯り　十日町きもの流しＧＩＮＧＡ」への協力や織物組合との連携イベント「アーットゆかた大集合」の実施、フラワーポットや桜灯籠（とうろう）、無料休憩所の設置、魚沼産コシヒカリ１００％提供店や原材料の一部にコシヒカリを使用したコシヒカリラーメン提供店ＰＲ、空き店舗を活用した地元作家展、商工会議所青年部による乾麺ショップなど、さまざまな事業を実施しました。

また、大地の芸術祭作品や石彫シンポ作品、観光施設などを紹介した案内マップは、作品巡りの際に多くの人に活用されました。さらに、十日町駅とトリエンナーレセンターで実施した無料レンタル自転車は、連日全車貸し出し状態になるなど、大好評を博しました。

◆十日町市中心市街地
事業推進本部長
今井紀雄さん（62歳・駅通り）

前回はトップダウンで来てしまったという意識が強く、私どもはまったく無関心で、冷ややかな目で見ていました。しかし今回、３年前の反省を生かして商工会議所が中心となり、５つの部会からなる中心市街地事業推進本部を立ち上げ、さまざまな活動にあたってきました。

実際に、オープニングイベントの「きもの流し」を見て、これは絶対に成功すると確信しました。昭和町でも駅通りでも高田町でも、すごい効果がありましたね。また、商店街に設置したフラワーポットや桜灯籠など、自然の花や歴史の深いものも良かったですね。

経済効果はあったと思います。結果として、いつもよりよけいに人が中心市街地を歩いていたことを実際に体感しました。最終的には冬の雪まつり、夏の芸術祭と言われ、２大イベントとして外からお客さんを呼べるようになれば、いいんじゃないかなと思います。芸術祭が夏のイベントとして定着すれば大成功じゃないですか。

日本工業大学小川次郎研究室＋黒田潤三
「モミガラ・パーク」（鍬柄沢）

工学院大学藤木隆明研究室
「十日町に服を着せようプロジェクト」（昭和町通り）

◆桑原福実（くわはらふくみ）さん
（49歳・鍬柄沢）

大沢山トンネルの開通に伴い、ほかの地域との交流をめざしていたこともあり、今回作品を誘致しました。日本工業大学の学生は２か月間、集会所に泊まり込んで作品制作にあたりました。その間、山菜採りに出かけたり野中小の運動会に参加したりするなど、交流が深まりました。また、運動会に参加してくれたお礼に野中小の子どもたちが作品制作を手伝うなど、子どもたちの印象も深かったのではないかと思います。

作品は、だれにでも分かりやすく、雪に耐えられるものをお願いしました。もみ殻ブロックで作ったモニュメントの中に集落の人の思い出の品を残すことができて、とても良かったと思います。

作品を制作したことにより、地域が芸術祭に興味を持ちました。大沢山トンネルの開通もあり、人が来ていることを実感します。鍬柄沢という場所と名前を知ってもらうことができ、良かったですね。地域の人も喜んでいます。

学生たちと過ごした２か月間は地域が盛り上がりました。普段静かなところに若い人が来て、活気が出ました。集会所にはいつも灯りがついていたのに、いなくなり暗くなったら寂しかったですね。

◆山形毅（つよし）さん（23歳・大学院１年）
◆鈴木洋敬（ひろたか）さん（23歳・大学院１年）
工学院大学藤木隆明研究室

大学で環境系の建築を学んでおり、自然の中でアートがどのように扱われているのか興味がありました。作品制作では、十日町はきものの街だということなので、きものや衣服、布を使って何かできないかと考えました。そして、町の中でじゃまになっている電柱に衣服を着せてみたら、町中の彩りも鮮やかになり、違う視点から町が見えるんじゃないかと思いました。電柱は突起の位置などすべて違うので、一本一本サイズを測り服を制作しました。パソコンの合成写真でイメージしていましたが、実際に見るとまた違いましたね。

ほかの地域からよそ者が入ってきて作品を展示するのですから、住民の皆さんは不安があったと思います。今回は、ワークショップなどしなかったため、あらかじめ作品を理解してもらう方法を考えれば良かったなと思います。

十日町の人は思っていた以上に我々に温かく接してくれて、とても驚きました。十日町は地域のつながりが強いように感じました。一致団結して自分のまちをよくしようとする人が多いと思いました。

大学では、自分の考えたものがリアルに完成することは、ほとんどありません。なので、大地の芸術祭のように自分の考えやイメージ通りにものを作れる機会が学生に与えられたことは、大きいと思います。また今回、ほかの学校とのつながりや地元地域とのつながりが持て、いろいろなコミュニケーションを取るきっかけになりました。住民の人ともたくさん話すことができたので、すごく良かったです。

作品が散らばっていることで、地域そのものも知ることができました。この地域の自然に驚くと同時に、目に入るものすべてが作品に見えました。

こへび隊

前回に引き続き、今回もこへび隊が大活躍しました。こへび隊は、大地の芸術祭の主体的サポーターとして運営の舞台裏を支える、重要なボランティアの応援隊で、主に首都圏の学生を中心に組織されています。

今回約８００人の登録があり、期間中は毎日約１００人が各市町村に設置されている作品の管理やイベントの運営に参画していました。旧名ヶ山小学校の校舎や四ツ宮荘を宿舎に、朝・晩の食事を共にして生活していました。

前回こへび隊として参加した人が今回作家として芸術祭に参加したり学生で参加した人が卒業後も運営に参加したりするなど、継続してかかわってくれた人も多くいました。また、こへび隊に参加して自分を見つめ直した人や進路を決める上で重要なポイントになったと話す人もいるなど、その後に大きな影響を及ぼしていることもうかがえます。

こへび隊という名称は、へびの脱皮に見られる再生・成長をイメージして組織名に引用されました。

◆こへび隊　清水真広（まさひろ）さん
（20歳・神奈川県）

こへび隊には、芸術を志す者との輪が広がればと思い参加し、７月末から期間中ずっと十日町に滞在していました。

芸術祭は、都会と地方をつなげる手段だと思います。そのおかげで十日町に来ることができました。そして、ここに来たからこそ考えられることが多くありました。時間がゆっくり流れている越後妻有で、いろいろな時間を持っている人と話をすることにより、自然や人と接することが好きな自分が見えてきました。

芸術祭では、それぞれの作品ごとに人と人とのつながりを感じます。期間中、緒方篤さんの作品（袋町中）を管理してきましたが、隣の庭野さんが毎日、お昼にお弁当を差し入れてくれたんです。感謝の気持ちでいっぱいで、いつか何か恩返しをしたいなと思います。

今回の芸術祭には、こへび隊として参加しましたが、３年後は違う立場で参加したいです。ボランティアは、企画と作家と住民それぞれの中間に位置していると思います。今回、いろいろな立場を経験しました。この経験を生かして将来につなげたいです。

小海　公（ただし）さん
（50歳、名ヶ山）

名ヶ山小学校が閉校して３年目、学校を何とか交流施設にと考えていました。ここは６市町村のほぼ中間に位置し、ちょうどいい場所です。こへび隊の宿舎として活用し、若い人が来ればにぎやかになり、地元としても活性化のいい機会だと考えました。

７月から泊まるということで、あれこれやってるうちに世話するようになりました。寝る布団がないということで、集落の皆さんにお願いして、いらない布団を集めたり、名ヶ山と中平の女性24人が交替で朝・晩のご飯のまかないをしたりしました。常時70人、多いときで140人ほど泊まっていたため、お米の量は半端じゃなく必要でした。それも集落の皆さんから格安で譲っていただき何とかしました。

若い世代の彼らは、とても印象深かったです。向こうにも印象が深く残ってくれるとありがたいですね。よくこんな場所にと思いますが、若い人がこんな場所があったと思い出してくれればいいと思います。若い人と話をすることはおもしろかったですよ。

今回、何と言っても学校に灯りがともったことがうれしく、ありがたかったですね。とにかくにぎやかになりました。

今までは、物事を決めるのも行事をやるのも男性でした。ところが今回、女性が集まり行動してくれたんです。女性が一生懸命な集落は発展してますよね。集落がまとまるにはとてもよい機会でした。今後の方向付けができました。本当に受け入れてよかったです。

閉幕間際、こへび隊がお世話になった
集落の皆さんを食事会に招待しました

芸術祭の成果とは？

あなたのNo.1は？

大きな作品、小さな作品、話題の作品、目立たない作品…今回の作品の中で、皆さんにとってどの作品がNo.1だったでしょうか？一番良かった作品、一番好きな作品、一番印象に残った作品などいろいろあったと思います。

作品制作にかかわった人たちにとって、長期間作家と構想を練ったり大変な作業をいっしょに行ったりしながら作品を創りあげたことから、地域の仲間とがんばってかかわった作品こそが何よりもNo.1であったと思います。また、作品鑑賞にまわった人の中には、たまたま見に行った作品のところで住民から受けた親切が思い出に残り、その作品がNo.1だという人もいました。

見た人の感じ方、設置されている場所や雰囲気、かかわった人の思い入れなどにより、すべての作品がNo.1だったのではないでしょうか。

誇れる地域コミュニティ

作家や作品制作にたずさわった学生たちの話を聞くと、ほとんどから「地域のコミュニティが強い」「この地域は非常に団結力がある」といった言葉が聞かれました。そして「地域に自信を持って暮らしているので、この地域から過疎という言葉は想像しにくい」とも言っています。

私たちは普段気が付きませんが、圏域外の人々がうらやましく思うほどの地域コミュニティこそ、いつまでも大切にしなければならないのではないでしょうか。

ここが好きだと再認識

第２回大地の芸術祭では、多くの集落が作品誘致を希望し、作家との協働作業により作品が制作されました。また、中心市街地では、作品制作の受け入れやイベント開催支援をはじめ、来訪者に対してさまざまなサービスがなされました。大地の芸術祭を盛り上げてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

今回、多くの住民が積極的に来訪者と交流し、情報交換する姿が見受けられました。これは、自分たち自身が楽しみたいと同時に、自分たちが住んでいる地域の良さを人に伝えたいということから生まれてくることだと思います。そして、住んでいる地域が好きだからこそできたことだと思います。私たち自身、住んでいる地域が好きだということを再認識することが、大地の芸術祭がもたらす一つの成果なのではないでしょうか。

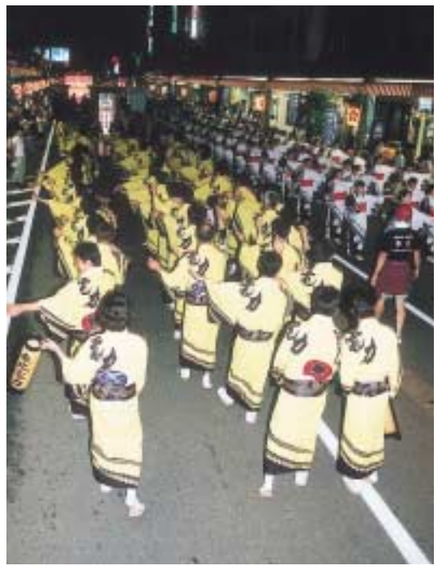
渡辺泰幸「土の音」
（土市招魂社）

十日町おまつり

8月25日(月)～27日(水)、十日町おおまつりが開催されました。25日夜には、10台の明石万灯が街を練り歩き、1、400人の大民謡流しが行われました。また、27日夜には、まつりの最後を飾る勇壮な八角みこし渡御が行われました。冷夏に泣かされた夏を惜しみつつ、3日間合わせて55、000人の人出でにぎわいました。

まつりのクライマックス、諏訪町入口での八角みこしのもみあい

本町通りを練り歩く明石万灯



みごとに並んだ桜灯籠も華を添えました

本町通り・コモ通りをうめつくした大民謡流し

ミス十日町雪まつりも踊りに参加

明石万灯に乗った子どもたち「オイヨイ、オイヨイ」と声を合せます

子どもたちの一番人気　駅通りの露店

市町村合併

第8回十日町広域圏合併任意協議会

～新市将来構想答申・決定、新市の名称案公募方法と長期財政見通しを報告～

9月2日㈫、第8回十日町広域圏合併任意協議会が川西町総合センターで開催されました。新市将来構想検討委員会（高津富士男委員長・川西町）が新市将来構想（案）を答申し、その場で協議され、答申どおり決定されました。

また、新市の名称案選定小委員会（関谷達治委員長・松代町長）から、新市の名称案公募方法について報告がありました。

引き続き長期財政の見通しの報告や、新市における事務事業についての協議や報告が行われ、熱い議論が交わされました。

新市将来構想決定

答申では、新市の基本理念に『夢を耕しつづける　感動と創造のまちづくり～自立した市民の知恵と協働～』を掲げています。将来像は『雪・自然・農が織りなす温（ぬく）もりと躍動の大地（まち）』を掲げ、行政と住民一人ひとりが共通認識を持ち、知恵を出し合い協働でまちづくりを進めることが必要としています。

また、将来像を実現するために、新市全体で連携・協力して重点的・優先的に実施すべき戦略プロジェクトとして8項目を掲げています。

答申を受けた合併任意協議会は、その場で協議を行い、答申どおり新市将来構想を決定しました。（新市将来構想の概要版は市報10月10日号といっしょに全世帯に配布予定です）

新市将来構想検討委員会では、合併任意協議会会長から諮問を受けた後に、新市将来構想をもとに具体的な「新市建設計画（案）」を策定することになります。

事務事業協議について

克雪利雪関係事業に関すること

①町内委託除雪に関すること

現行では、十日町市以外の4町村では、公道の除雪に住民負担はありませんが、ほかにどのようなものを負担しているかを詳細に調査することになり、次回に持ち越しとなりました。

関連して、「消雪パイプ除雪に関すること」「流雪溝整備の受益者負担に関すること」も次回で検討することになりました。

②克雪住宅整備助成に関すること

克雪住宅の普及のため、「克雪住宅の集団的整備事業」「克雪住宅協調整備事業」の国や県の補助事業を使い、さらに市が上乗せしていますが、現状維持となります。

また、克雪住宅資金貸付事業については、川西町を例にして、貸付条件は金融機関と協議して決めることになりました。

民税に関すること

①個人住民税の賦課に関すること

新市の人口が65、000人となるために、均等割りについては、2、500円になり、現在よりも500円多く収めなければなりません。

市民税均等割は地方税法により、人口5万人以上50万人未満の市は2、500円に決められているためです。

納期については、6月、8月、10月、12月の4期で、現在と変更はありません。

②法人住民税の賦課に関すること

均等割は、5市町村とも標準税率となっています。法人税割については各市町村に差がありました（十日町市14・7％、川西町13・2％、中里村13・5％、松代町12・3％、松之山町12・3％）が、制限税率の14・7％とすることになりました。ただし、合併年度の翌年度から5年間は各不均一課税とし、段階的に負担調整を行うことになりました。

協議では、「ひとつの市町村で納税に差があるのは困る。できるだけ統一することが基本原則である。例えば、工事などの入札条件は同じで、税金を納めるときに会社の住所地で差が出てしまうのでは問題だ」など多くの意見が交わされました。

③入湯税の賦課に関すること

入湯税は、宿泊者は100円、宿泊しない者は50円となりました。

松代町と松之山町では、宿泊者150円で県内温泉地と同額を徴収していることもあり、2町のみ150円との意見も出ましたが、5市町村とも同じ扱いにすることになりました。

資産税に関すること

①固定資産税の賦課に関すること

各市町村とも税法に基づいているため相違点がなく、現行どおりとなりました。

②都市計画税の賦課に関すること

十日町市だけが都市計画税を賦課しており、現行どおりとなりました。

③軽自動車税の賦課に関すること

各市町村とも税法に基づいているため相違点がなく、現行どおりとなりました。

学校教育関係事業に関すること

①奨学金制度に関すること

新市においても奨学金貸与事業は継続し、貸与資格は十日町市の例によることとしました。返還金の「50％減免措置」は廃止しますが、貸与を受けた人が、死亡または疾病のため返還が困難になったときは猶予または減免することができることとしました。

なお、合併前に貸与決定されたものは、返還も含め旧市町村の制度を継続することになりました。

また、協議会委員から「将来を担う人づくりのために修学準備金の創設を」の要望が出され、修学準備金を創設し貸与額は50万円を限度とすることも決まりました。

◆奨学金貸与の現状

区　分	高等学校	高等専門学校	専修学校	大学（短大含む）	備　考
十日町市	10,000円/月	18,000円/月	20,000円/月	35,000円/月	減免基準あり（50％～全額）
川西町	10,000円/月	20,000円/月	30,000円/月	30,000円/月	
中里村	10,000円/月	20,000円/月	20,000円/月	30,000円/月	入学準備金あり
松代町	－	50,000円/月	50,000円/月	50,000円/月	松代高校卒業生のみ
松之山町	－	30,000円/月	30,000円/月	30,000円/月	松之山分校卒業生のみ修学準備金あり
調整後	10,000円/月	20,000円/月	30,000円/月	35,000円/月	修学準備金限度額50万円

十日町広域圏合併任意協議会では

新市にふさわしい名称案を公募します

募集期間

9月24日㈬～10月26日㈰（郵送は当日消印有効）

記載事項

①新市の名称案（漢字の場合はふりがな）
※名称案の由来・理由があったらお書きください
※現5市町村の名称も応募できます
②応募者住所、氏名

応募制限

①応募1枚につき名称案1点とします。複数の名称案がある場合は、何点でも応募できます
②名称案は、漢字、ひらがな、カタカナ、またはこれらの組み合わせにより表記されるものとします
③公序良俗に反する名称、長すぎる名称はご遠りょください

応募方法

①専用はがき（市報9月25日号といっしょに合併任意協議会だよりと専用はがきが2枚付いたチラシを全戸配布します）　②官製はがき　③封書　④ファクシミリ　⑤Eメール

問合せ：十日町広域圏合併任意協議会事務局　☎52－7725

ることが加えられ、修正後確認されました。

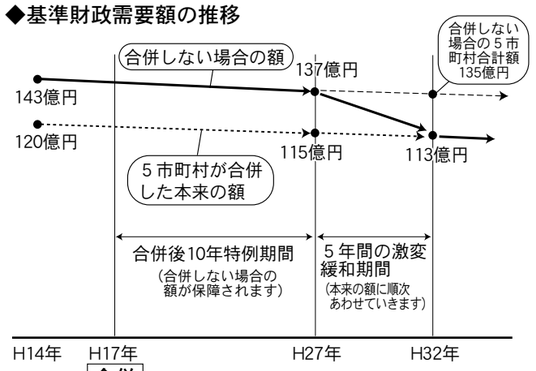
②学区に関すること

性急な学区の再編は混乱をきたす恐れがあるため、現行どおりとなりました。

長期財政の見通し

平成14年と32年（合併後16年目）を比較した長期財政の見通しの一部が発表されました。この見通しには人口が大きく影響するため、人口の推計を行い、歳入と歳出を推計しました。

◆基準財政需要額の推移



※基準財政需要額…標準的な事務を行うのに必要な額
基準財政収入額…地方税・地方譲与税を含む標準的な収入の見込額

今後、新市建設計画を含めた財政シミュレーションを進めていきます。

人口はどうなるの？

人口推計には、平成7年と12年の国勢調査の結果をもとにコーホート変化率法を用いて推計しました。

5市町村の人口は、平成12年では65、033人ですが、32年には48、830人となる見込みです。

歳入はどうなるの？

①普通交付税の推計

現行の交付税制度で試算しました。

普通地方交付税は、基準財政需要額と基準財政収入額の差で交付されます。基準財政需要額は30億円減少しますが、基準財政収入額も税収などの減から6億円減少します。

その結果、普通地方交付税は24億円減少すると推計されました。

②地方税・地方譲与税などの見込み

平成14年度と32年度を比較した場合、人口の減少により、市税で5億円、譲与税で3億円収入が減少する見込みです。

歳出はどうなるの？

①人件費の見込み

人件費は、平成32年の新市の推計人口48、830人に見合う類似団体を参考にすると、22億円の削減が見込まれます。

◆人　数　（人）

項目		特別職	議会議員	行政委員会	付属機関など委員数	一般職員
合併前	十日町市	4	20	35	1,285	348
	川西町	4	18	31	317	121
	中里村	3	14	30	429	93
	松代町	4	14	23	380	74
	松之山町	3	10	22	222	75
	合計	18	76	141	2,633	711
合併後		4	30	57	2,120	447
削減数		14	46	84	513	264

※一般職員には、上下水道事業の企業職員など（約120人～130人）を含んでいません。

◆人件費　（百万円）

項目		特別職	議会議員	行政委員会	付属機関など	一般職員	合計
合併前	十日町市	50	98	12	101	2,421	2,682
	川西町	42	54	10	26	786	918
	中里村	32	41	9	19	682	783
	松代町	42	38	3	30	513	626
	松之山町	32	28	3	22	587	672
	合計	198	259	37	198	4,989	5,681
合併後		50	146	20	189	3,062	3,467
削減数		148	113	17	9	1,927	2,214

◆物件費と補助費の推計

項目		人口（人）	物件費 1人当たり（万円）	物件費 総額（億円）	補助費など(一組以外のもの) 1人当たり（万円）	補助費など(一組以外のもの) 総額（億円）
合併前	十日町市	43,461	4.3	18.59	2.1	9.16
	川西町	8,205	5.5	4.53	2.5	2.09
	中里村	6,438	6.7	4.34	4.4	2.85
	松代町	4,278	10.3	4.42	6.5	2.77
	松之山町	3,124	13.2	4.12	10.3	3.22
	合計	65,506	5.5	36.06	3.1	20.10
合併後（H32）	経費を高めに見た場合	48,830	5.5	26.86	3.1	15.14
	経費を低めに見た場合		4.3	21.00	2.1	10.25
削減効果	経費を高めに見た場合	－	－	9.20	－	4.96
	経費を低めに見た場合	－	－	15.06	－	9.85

②物件費の推計

物件費は、賃金、旅費、交際費、需用費、備品購入費、委託料、使用料などの経費です。

人口一人当たり経費で推計した場合は、高めに見ても（5市町村の平均一人当たり物件費55、000円）9億円削減できます。低めに見る（十日町市の人口一人当たり物件費43、000円）と15億円削減できます。

③補助費の推計

補助費は、負担金、補助金、報償費などの経費です。一部事務組合に係る負担金については変更がないものとして、それ以外のみ推計されました。

人口一人当たり経費を高めに見ても（5市町村の平均一人当たり補助費など31、000円）と5億円削減できます。低めに見る（十日町市の人口一人当たり補助費など21、000円）と10億円削減できます。

歳入と歳出の今後は？

①合併の効果

平成14年度と32年度の歳出を比較すると、削減が期待できる人件費、物件費、補助費などについては次のとおりとなります。**合併効果として最小で4億円、最大で15億円の余裕が発生することになります。**

◆歳入の減額

市税　5億円
譲与税など　3億円
普通交付税　24億円
32億円
（基準財政需要額の減額とほぼ等しい）

◆歳出の削減

〈人件費〉　22億円

〈物件費〉　最小 9億円　最大 15億円

〈補助費など〉　最小 5億円　最大 10億円

〈合計〉　最小 36億円　最大 47億円

②特例債借入額と公債費のシミュレーション

合併特例債の借入パターンを平常なみ、平常の1・3倍、平常の1・5倍の三つのパターンでシミュレーションした結果、どのパターンもすでに借りてある地方債の返済額のピーク時の平成16年を上回ることがないことが分かりました。計画としては1・3倍をベースに調整に入ることになりました。

問合せ　合併推進課　☎57-3111 内線288

保育ヘルパー育成セミナー 受講者募集!

SEMINAR

講演会や催しに参加したいのに、子どもを預けることができず、あきらめている子育て中の人がたくさんいます。そんな人たちが心置きなく活動できるように保育のお手伝いをするのが「保育ヘルパー」です。

セミナーでは、子どもたちを預かるときに知っておきたい基礎知識を学びます。

■**会　場**＝公民館本館（学校町１）
■**時　間**＝午前９時30分～11時30分
※10月30日㈭は正午まで
■**対　象**＝これから保育ヘルパーとして活動したい広域６市町村在住者、年齢性別不問
■**受講料**＝無　料
■**定　員**＝先着30人
■**その他**＝資格取得や就職のあっせんはできません
■**申込み・問合せ**＝９月30日㈫までに、電話・ファックス・はがきのいずれかで、①氏名②住所③生年月日④電話番号を健康福祉課児童家庭係（〒948-8501千歳町３－３☎57－3111内線131、FAX57－3800）までお知らせください

回	期　日	テ　ー　マ
1	10月16日㈭	開講式 子どもの心と体の発達
2	10月21日㈫	子どもとのかかわり方
3	10月23日㈭	子どもに多いケガの応急手当て
4	10月28日㈫	子どもの食生活
5	10月30日㈭	保育ヘルパーとして活動するために 閉講式

十日町プレミアム商品券がもっと身近で買えます

プレミアム商品券は１、０００円券11枚綴りで１万円。10％の特典付きで大変お得です。

商品券販売所を商店街にも設けました。商品券有効期限は10月31日㈮です。お早めにお買い求めください。

▼販売所

くしや（本町１）滝沢印刷（本町２）イチムラ（本町３）みさ伝（本町４）カバンのハギヤ・酒のいまい（駅通り）ヤナショウ（高田町１）総合食品センター増田（高田町２）しみず薬局（高田町３）宮幸酒店（昭和町）大塚屋商店・東屋商店（下条）吉田商会（水沢）妻有ショッピングセンター木村屋、十日町商工会議所、水沢商工会、市商工観光課、公民館

この「十日町プレミアム商品券加盟店」の表示がある市内のお店で使えます。

▼問合せ

十日町プレミアム商品券実行委員会事務局（十日町商工会議所内）☎57―5111

空き店舗を活用したい人を募集します

郊外型大型店や駐車場不足などの影響で、中心市街地には空き店舗が急増しています。これは中心市街地だけの問題ではなく、市全体の活性化のブレーキになり、イメージダウンにもつながってしまいます。

しかし、これから事業を始めようという人にはチャンスでもあります。そこで、空き店舗を利用して事業を始めたいが資金不足で…という人に、市が支援します。

やる気のある人、ぜひご利用ください。

▼対象物件

中心市街地にある空き店舗

▼補助額

店舗賃借料の２分の１、月額５万円を限度

▼業　種

風俗業など一部業種は補助対象外

▼申込み・問合せ

市商工観光課商工労政係
☎57―3111内線263

介護老人福祉施設の入所判定基準が10月から変わります

新しい入所判定基準

10月からの入所判定基準は、
○本人の要介護の状況
○介護の必要性
○入所待機期間
○特段の事情を有するもの

これらの要素を、施設が任命した入所判定委員が審査し、入所を決定します。

どうして基準を変更するの

介護保険制度導入以来、入所は原則として申込みの順番となっていました。このため、緊急を要する人の対応は必ずしも十分ではありませんでした。

また、事情により複数の施設への申込みもあり、必然的に各施設の待機者が多くなっています。申込み時点では、入所まで２～３年の待機期間が必要となっていました。

今回、入所の必要性が極めて高いと認められる人が、優先的に入所できるように入所基準を変更するものです。

対象施設

十日町市と中魚沼郡にある**三好園、あかね園、恵福園、七川荘**への入所にあたっての基準が変わります。

◎施設では今後とも、入所決定にあたっては透明性・公平性を確保し、慎重に審査していきます。

申込み・問合せ

入所基準の詳細や申込みは、各施設の窓口でご相談ください。

三好園　☎56―2106
あかね園　☎68―4565
恵福園　☎65―3700
七川荘　☎63―2669

2003 第1回 女・男セミナー 今・本音で語る 家族のかたち

●とき **9月27日**㈯午後１時30分～４時　●ところ **情報館**　●入場料 **無料**

昨今、さまざまな家族のあり方が問われています。
子育てと仕事を両立し活躍する講師の実体験と、そこから生まれた家族論から、明るく生きるヒントがきっと見つかるでしょう。

講演　「妻が僕を変えた日」 ～家族・子育て・共同参画～

講　師　**広岡守穂さん**

【プロフィール】
1951年生まれ。中央大学法学部教授。専攻の政治経済に限らず、子育て夫婦関係などの家庭論、少子高齢化、教育、女性の仕事おこしなど調査研究を手掛ける。５児の父親。妻の立美さんは石川県議会議員

■**申込み・問合せ**
企画人事課企画係（☎57-3111内線215）

■**保育ルーム**
費　用　おやつ代200円
申込み　９月22日㈪までに企画人事課企画係へ

■**主　管**　十日町女性ネットワーク

■**2003 男・女セミナー今後の予定**

期　日	テーマと講師	会　場
第２回 11月開催予定	講演「大切にしたい！わたしのからだ」 江口夫佐子さん 実習「フラワーアレンジメント」 福島けい子さん	吉田地区公民館
第３回 12月開催予定	第２回と同じ	中条地区公民館
第４回 16年３月 開催予定	講演「女性の労働」十日町版～全国女性史研究交流のつどい報告会 岡元眞弓さん	公民館 本　館

入賞おめでとう！陸上全国大会

８月19日㈫から22日㈮まで北海道で行われた第30回全日本中学校陸上競技選手権大会で、男子3000mに出場した田村英晃選手（下条中３年）が３位となり、みごと銅メダルに輝きました。また、男子三種競技Aに出場した丸山正樹選手（吉田中３年）が６位入賞を果たしました。

今大会、全国ランキング２位の田村選手は、強豪ひしめく中うまくレースを運び、混戦から抜け出しました。タイムも県記録まであと０．２秒と迫る、８分41秒35という好記録でした。丸山選手は、砲丸投げで13m91の自己ベストを記録したほか、100mと走り高跳びでも健闘しましたが、メダルまであと19点及ばずトータル2856点で６位入賞となりました。

入賞者の皆さん、おめでとうございます。

田村英晃選手（下条中３年）※写真右

丸山正樹選手（吉田中３年）

「たっしゃで１００」発会式

９月３日㈬、市民会館で「たっしゃで100」の会の発会式が行われ、約500人が参加しました。生涯健康であり続けるために、健康や生きがいづくりに積極的に参加し、夢を持ちながら人生を送ろうと発足したものです。60歳以上の人が「たっしゃで100」対象事業に参加するとポイントがつき、20ポイントで温泉の無料入浴が１回できます。健康づくりに大きな効果が期待されます。

守ろう！在来植物

８月31日㈰、水辺の楽校（がっこう）つまり子広場で、外来植物「アレチウリ」の駆除（水辺の楽校活用協議会主催）が行われました。激減するちょうの一種ミヤマシジミのえさとなるコマツナギをはじめとした在来植物を守るために、雨の中68人が参加して大量のアレチウリを駆除しました。作業後、国土交通省信濃川河川事務所の主催で、河川の整備に活用される「川の通信簿」が行われました。

水泳で夏季国体出場

９月13日㈯から16日㈫まで静岡県で行われる夏季国体水泳競技に出場する選手にエールを送ろうと８月28日㈭、出場選手激励壮行会が行われました。晴れ舞台での活躍が期待されます。出場選手名・所属は次の通りです。（敬称略）

第58回国民体育大会夏季大会水泳競技：須藤一毅（中越高２年、中条中出身）福島俊史（長岡大手高１年、南中出身）樋口裕也（下条中３年）※写真左から

まちの話題

TOKAMACHI TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画人事課広報広聴係（☎57―3111内線213）へ、お気軽にお寄せください。

ＩＴ利用をより身近に

生活の中でのＩＴ利用をより身近に感じ、活用してもらうための「ＩＴフォーラム2003 in TSUMARI」（妻有ネットフォーラム主催）が８月24日㈰、クロス10で開催されました。十日町広域圏６市町村で進められている高速通信網の整備状況やＩＴ社会の未来像などが紹介されました。中でも持ち帰りのできるパソコン組み立て教室は人気を集め、参加者からは「少し難しかったが面白かった」との声が聞かれました。

聴覚障害者交通安全セミナー

聴覚障害者のための交通安全セミナーが９月１日㈪、十日町交通センターで開催されました。交通安全についてのビデオ上映や交通事故防止についての講話が手話付きで行われ、参加者は真剣な眼差しで見入っていました。

９月21日㈰から30日㈫までの10日間、秋の全国交通安全運動が行われます。夕暮れが早まるこの時期、交通安全を心掛け、交通事故には十分気をつけましょう。

すこやかエコーECHO

●問い合わせ
健康福祉課健康増進係
TEL 57-3111(内線143)

日本一の健康都市をめざして

- H 歩けあるけ運動 utdoor(アウトドア)
- H 検診率100%運動 ealth(ヘルスチェック)
- C 隣近所の声かけ運動 ommunity(コミュニティ)
- E 乳幼児期から、正しい食事をとる運動 at(イート)

～たっしゃで100事業～
「明石の湯」での健康講座・健康相談を利用しませんか？

十日町市では、「ねたきり予防」を目的に、明石の湯和室で毎月、健康講座と健康相談を行っています。

健康講座

「若返りの秘訣」をテーマにした専門家の講話です。希望者には健康相談も行っています。受講には事前申込みが必要です。

日　程

①9月16日㈫「靴の選び方・はき方」
②10月7日㈫「中高年期の心の持ち方」
③11月10日㈪「髪・美容の話」

健康相談

保健師による、事前申込み不要の個別相談を行っています。生活習慣病や介護など、自分や家族の健康に関することを気軽にご相談ください。

日　程

①9月25日㈭②10月23日㈭
③11月27日㈭

※健康講座・健康相談ともに

時　間：午前10時～11時30分
参加料：明石の湯入場料500円（70歳以上は400円）

12月以降も実施します。健康講座の日程は随時、健康相談は市報毎月25日号でお知らせします。

たっしゃで100事業

明石の湯健康講座・相談事業は、「たっしゃで100事業」に指定されています。60歳以上の人が指定事業に参加すると、1回ごとに1ポイントが付き、20ポイントで、明石の湯・羽根川荘・平成園・みよしの湯の入浴が1回無料となります。

健康づくりに温泉入浴とあわせて利用してみませんか？

うちのSMILING FACE めごちゃん⑱

うちのめごちゃん募集中です。

佐藤　麟太朗ちゃん

さとう　りんたろうちゃん　平成12年12月30日生まれ　本町６－１

お父さんとサッカーや野球、山登りに挑戦する２歳とは思えない体力の持ち主の麟太郎ちゃん。２月に生まれた桜子ちゃんをとってもかわいがったり、やきもちをやいたり、ちょっぴり複雑な心境のお兄ちゃんです。

青春リレー⑩② 先月の大渕佳代子さんからバトンタッチ

井沢秀彦さん
1979年生まれ
イザワ・ティースアート代表

独立という夢を実現しました

新潟の短大を卒業後、東京で3年間歯科矯正を勉強し、今年1月に帰ってきました。歯科技工士の国家資格を取得し、独立することを目標に歯科矯正の道へ進みました。

現在、独立して自宅で歯科矯正装置を製作しています。北海道から山口まで、全国各地の歯医者さんから歯型を送ってもらい、矯正装置を作っています。仕事はすべて東京時代のつながりによるもので、県内にはまだお客様がいません。ゆくゆくは県内での営業活動もしていきたいですね。そのために現在、ホームページを作成しています。

やっただけ収入につながるので、やりがいはありますが、不安もあります。仕事が少なくなったときは、できの悪いものを作ったかなと心配になります。ただ、独立してから仕事が増えています。また、独立当初からの歯医者さんも使い続けてくれているので、価格や技術がそれなりに評価されているのかなと思います。

休日は外に遊びに行くことが多いです。家は仕事場でもあるので、家でゆっくりすることは少ないですね。今年は休みなしですけど。

夢織人 妻有の伝統工芸士⑱

渡辺孝一さん（山本町４）

いろいろな会に参加し、自分にプレッシャーを与えて作品制作にあたっています。いつでもできると思っていると、いつまでたってもできないですから。

東京の大学を卒業後、家業を継ぐため京都で約2年間、流通関係の仕事に就いていました。さまざまな物が集まる京都は、良い勉強になりました。

家は織り中心だったため、職業訓練校で1年間、染色を学びました。その後は何を作ったらいいのか悩み、試行錯誤を重ねた時期もあります。そんな中、きものではあまりないすくい織りを取り入れました。現在では、経緯絣と並んでうちの主力商品です。

意識していろいろな会に参加することで自分にプレッシャーを与え、作品制作にあたっています。織人染人の会では、職人としての意志と強いこだわりを持ち、新しい技術にチャレンジしています。また、クロス10の高等技術者研修ＯＢ中心の染織サークルでは、仕事でできないようなことに挑戦しています。

染織サークルでは現在、大地の芸術祭協賛イベントとして、オリジナルたて型織り機によるすくい織りタペストリーをキナーレで制作しています。草木染めの糸を使い、大地の息吹を感じさせるようなデザインで、幅１・６ｍ×高さ２ｍという大きなタペストリーです。完成品は、秋のクロス10染織文化祭で発表する予定です。

昭和29年生まれの48歳。渡吉織物㈱の４代目。この春から織物組合の理事も務める。平成５年度、十日町絣染色部門の伝統工芸士に認定される。

健康づくりフェア・市民福祉まつり2003

問合せ
健康福祉課
保健予防係
☎57-3111内線141

今年はクロス10とキナーレを会場に試食や抽選会など楽しい企画が盛り沢山です。また、禁煙相談コーナーが新登場。禁煙したい人、家族の喫煙で困っている人の相談を受け付けます。入場は無料です。ぜひお出かけください。

●日時　9月28日(日)午前9時30分～午後3時
●会場　クロス10・キナーレ

≪クロス10会場≫

健康づくり講演会　2階中ホール

時間：午後1時～2時30分
講師：立川らく朝さん
（医学博士・落語家）
演題：「ヘルシートーク
と健康落語」
※健康教育と落語をミックスした新しいジャンルの楽しい語りです

相談コーナー　2階大ホール

内科相談、歯科相談、禁煙相談、歯磨き指導、助産師会相談（もく浴指導・育児相談）、接骨師会相談（腰・ひざ治療法、ケア方法、筋力測定）

展示コーナー　2階大ホール

血圧・体脂肪・身長・体重測定、スモーカー度チェック、栄養士会「あさごはん　たべてきたかい？」、薬剤師会「薬と健康」、やまな会「なぜ減塩？」、調理師会「すし試食」、歯科技工士会「手形プレゼント」、暮らしを支える住環境（介護用品展示）、我ら健康福祉探検隊（高齢者介護クイズ・参加賞あり）、お年寄りのなんでも相談（介護総合相談）、リハビリ教室作品展示

即売・喫茶コーナー　2階大ホール

家族会・エンゼル妻有・手をつなぐ親の会・ハートケアぼちぼちなどの手づくり品・野菜などの販売、なごみの家手づくり作品販売と出店喫茶「ポレポーレ」

催物コーナー　2階ロビー・1階グランドホール

夢いっぱいお楽しみ抽選会（明石の湯入浴券、花鉢プレゼント）、ふわふわ風船プレゼント、献血（午前9時30分～正午）、骨粗しょう症予防検診（受付：3階第2会議室※事前申込者のみ）

≪キナーレ会場≫

◆高齢者・身障者福祉センター作品展示（楽市楽座）
◆消費者協会・不用品代理販売（楽市楽座）

「健康ウォーキング」参加者募集中！

■**時間**：午前10時～正午　■**受付**：午前9時30分～（クロス10前きもの広場集合）　■**コース**：約6㎞（きもの広場～大井田の郷公園～水辺の楽校～緑道～きもの広場）　■**定員**：100人（雨天決行）　■**その他**：完歩賞あり。小学生以下は保護者同伴　■**参加費**：無料
■**申込み**：9月26日㈮までに健康福祉課保健予防係へ。定員に満たない場合は、当日申込みも可

環境フェア

●日時 9月28日(日)
午前9時30分～午後3時
●会場 キナーレ
1階多目的ホール

参加体験コーナー

コピー用紙ではがきづくり、果物を使ったドライフラワーアレンジ教室、輪投げ大会、鍋敷きづくりなど

展示・販売コーナー

環境にやさしい文具や製品の展示・販売、ペットボトルリサイクル品などの展示・販売、こどもエコクラブ・環境基本計画・十日町市役所エコアップ計画などの展示

催し物コーナー

お楽しみ抽選会やエコ製品プレゼント

◆問合せ◆
市民生活課生活環境係（☎57－3111内線157）

GUIDE
お知らせ・ガイド
市役所　TEL 57-3111

GUIDE 催し

「都市計画区域マスタープラン」公聴会

長期的視点で都市将来像を明らかにする「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画区域マスタープラン）」の素案について、意見をお聞きする公聴会を開きます。●**日時**＝10月23日㈭午後7時～●**会場**＝六日町文化会館●**公述の申出**＝意見のある人は10月3日㈮までに、①意見の要旨とその理由②氏名③住所④電話番号を記載した知事あての書面（様式自由）を、問合せ先に提出してください。決定は本人に通知します。陳述に要する費用は公述人の負担となります。※申出は十日町都市計画区域の住民に限ります●**公聴会の中止**＝公述の申出がないときは中止します。開催日の10日前までに県庁都市政策課ホームページに掲載します●**傍聴**＝先着100人午後6時30分～当日会場で受付●**問合せ**＝県土木部都市局都市政策課都市計画係（☎025―285―5511内線3332）

「キナーレ市」を開催します

11月末までの「キナーレ市」の開催は次のとおりです。ふるってご出店ください。●**開催日**＝9月14日㈰・28日㈰、10月12日㈰・25日㈯・26日㈰、11月9日㈰・23日㈰●**会場**＝キナーレ回廊1階南北スペース※9月28日は南側のみ●**申込み・問合せ**＝越後妻有交流館キナーレ（☎52―0117）

星空観望会

地球のすぐ外側を回る「赤い惑星」火星が、6万年ぶりに地球に大接近しています。火星観察の絶好のチャンスです。秋の星空観望会にお出かけください。●**日時**＝9月17日㈬午後2時～5時●**会場**＝十日町商工会議所●**相談員**＝澤野利弘社会保険労務士●**申込み・問合せ**＝十日町商工会議所（☎57―5111）

黒沢観光栗園オープン

●**期日**＝10月10日㈮まで●**入園料**＝中学生以上300円、小学生100円●**問合せ**＝宮澤健一（☎58―2565）またはマロンハウス（☎52―2824）

無料社会保険相談会

●**日時**＝9月22日㈪・23日（秋分の日）午後8時～●**会場**＝当間高原リゾート天文台●**参加費**＝無料●**問合せ**＝あてまフォーラム事務局（市商工観光課観光・リゾート推進室内　内線265）

妻有街道歩け歩け大会

かつて妻有郷から三国峠を越えた街道を歩きませんか。いも掘り、ざるそば、山賊汁付●**日時**＝10月12日㈰午前9時出発（受付：8時30分～）※小雨決行●**コース**＝市役所前（集合）～六箇～栃窪峠（約18㎞）※帰りはバス●**参加費**＝大人1、800円、中学生以下1、000円※当日徴収●**定員**＝200人●**申込み**＝10月5日㈰までに、各地区公民館または総合体育館（☎52―4377）●**問合せ**＝六箇体育協会事務局・俵山正二（☎57―6424）

丸山浩路氏講演 出会い ふれ愛 感動！ ～みんなちがって みんないい～

NHK手話ニュースキャスター丸山浩路氏の心温まる手話パフォーマンスをお楽しみください。●**日時**＝9月23日（秋分の日）午後1時30分（開場1時）～●**会場**＝市民会館●**入館料**＝無料●**申込み・問合せ**＝田中新聞店（☎52―4591）

中条病院祭 地域ふれあいフェア

●**日時**＝9月27日㈯午前9時30分～午後3時●**会場**＝中条病院●**問合せ**＝中条病院（☎57―3018）

星と森の詩美術館 高橋信一木版画展 《同時開催》新刀名工展

●**期間**＝9月28日㈰まで※火曜日は休館（祝日の場合は翌日）●**開館時間**＝午前9時30分～午後5時（入館は4時30分まで）●**入館料**＝一般500円、小・中学生200円●**問合せ**＝星と森の詩美術館（☎52―7202）

シルバー世代のためのIHクッキングヒーター体験料理教室

「和風おもてなし料理」を作ります。●**日時**＝9月24日㈬午前10時～午後1時●**会場**＝東北電力㈱十日町営業所●**参加費**＝500円●**申込み・問合せ**＝9月18日㈭までに、東北電力㈱十日町営業所（☎52―3107）

十日町おやこ劇場

人形一座ホケキョによる「泪（なだ）

THANK YOU

寄付ありがとう　8月25日届出分まで（敬称略）

■**情報館へ**＝春日みどり（樽沢）江村文雄（妻有町西3）田村京子（西浦町東）丸山義房（本町6－3）十日町平和センター　庭野隆雄（東京都）
■**博物館へ**＝高橋正男（高山2）塩義郎（鳥取県）
■**十日町市へ**＝宮幸酒店（昭和町1・車いす1台）

鬼」と「けらら姫と大食い象のガシャ」の影絵です。●**日時**＝9月27日㈯午後7時～8時●**会場**＝森の保育園●**入場料**＝入会金1家族1、000円＋年中児以上1人月額700円※会員制当日入会できます●**問合せ**＝水落静子（☎56―2144）

社福保健

リフレッシュ講座（働く人のための糖尿病予防教室）

職場健診で糖尿病の疑いがあるといわれたあなた、生活をリフレッシュしてみませんか。食事や運動を楽しく体験する講座です。●**日時**＝10月11日㈯、25日㈯午前10時～午後3時●**会場**＝十日町健康福祉事務所●**受講料**＝無料●**申込み・問合せ**＝9月26日㈮までに、十日町健康福祉事務所地域保健課（☎57―2400）

禁煙チャレンジ講座

たばこをやめたいあなた、チャレンジしませんか。禁煙グッズ紹介や専門家の話などです。●**日時**＝10月3日㈮、14日㈫、28日㈫午後6時～8時●**会場**＝十日町健康福祉事務所●**受講料**＝無料●**申込み・問合せ**＝9月26日㈮までに、十日町健康福祉事務所地域保健課（☎57―2400）

環境

家庭系使用済パソコンリサイクル法が始まります

10月1日から、メーカーによる回収を義務付けた「家庭系使用済パソコンリサイクル法」が始まります。

●10月以降購入した製品は、回収費用を製品価格に上乗せした「先取り式」のリサイクル方法となります。回収は、消費者が直接郵便局（簡易郵便局を除く）に持ち込むか、郵便局から回収に来てもらってください。

●9月末日までに購入した製品は、メーカーが回収時に一定額のリサイクル費用を徴収します。購入店か専門店に回収を依頼してください※十日町市では、すでに購入店か専門店での回収をお願いしていますので、従来通りの処理方法になります。

●パソコンに記憶された情報の漏えい防止は消費者の責任で行ってください。ドリルで穴を開けるなど部分的に壊すことも対策の一つです。

●**問合せ**＝十日町地域衛生施設組合（☎52―3924）

その他

平成15年住宅・土地統計調査にご協力ください

10月1日、5年に一度の住宅・土地統計調査が行われます。豊かな暮らしとやさしい住まいのための大切な調査です。調査対象世帯には調査員が伺いますので、ご協力をお願いします。●**問合せ**＝総務課文書統計係（内線224）

キナーレは毎週水曜日全館休館になります

大地の芸術祭閉会に伴い、キナーレは平常どおり毎週水曜日に全館休館となります。●**問合せ**＝越後妻有交流館キナーレ（☎52―0117）

U・Iターン登録制度

ハローワークには、Uターン・Iターン希望者の登録制度があります。希望の就職条件を登録するもので、求人情報の提供や、就職相談・職業紹介を行います。

また、U・Iターン希望者を対象にフェアを開催します。●**日時**＝10月25日㈯・26日㈰午後1時～4時30分●**会場**＝にいがたUターン情報センター「ネスパス」（東京都渋谷区神宮前4―11―7☎03―5771―7713）●**内容**＝参加企業との面接、就職相談●**問合せ**＝ハローワーク十日町（☎57―2407）

大地の芸術祭作品「盆景-Ⅱ」お別れイベント

大地の芸術祭終了に伴い解体される古郡弘氏の作品「盆景-Ⅱ」のお別れイベントを行います。

美しくライトアップされた作品の最後の鑑賞とオカリナコンサートをお楽しみください。

●**日　時**＝9月14日㈰午後7時～

●**問合せ**＝企画人事課企画係（内線216）

ナトゥーラ

NATURA 十日町市体験交流施設をご利用ください

当間高原リゾートにある、十日町市体験交流施設（ナトゥーラ）を、会議や各種団体イベントにご利用ください。

【交流棟】

・地下部分には「雪室」があり、雪体験も楽しめます
・1階部分は、入口やトイレなどがバリアフリー仕様です

●**料金**

室　名	2時間まで
交流ルーム1	7,000円
交流ルーム2	4,000円

※利用の内容・目的により、割引きもあります

【宿泊棟】

・フィンランドログのぬくもりとやすらぎのある部屋です
・2棟のうち1棟は1階部分がバリアフリー仕様です
・2棟4室24人宿泊可能（1室定員6人）

●**宿泊料金**　・4,800円～（1人あたり、食費なし、消費税別）

●**申込み・問合せ**＝十日町市体験交流施設管理運営協議会（ホテルベルナティオ内☎58－4890）

不用品代理販売 不用品募集中

あなたの家庭で眠っている不用品を、環境フェア・健康づくりフェアで代理販売します。

●**受付**＝9月18日㈭午前9時～午後4時に、価格を付けて市民体育館に持参してください（返却不用なもので、衣類などは汚れのないもの）
●**販売日**＝9月28日㈰　午前9時30分～午後3時
●**販売会場**＝キナーレ
●**その他**＝売上金の20％と振込手数料（代金の振込希望者）をいただきます
●**問合せ**＝消費者協会事務局（市民生活課生活環境係内線158）

ゆずります ゆずってください

＊消費者協会（市民生活課生活環境係内線158）へ
＊ゆずります受付開始　9月16日㈫午前9時

ゆずります……

番号	品　名	規　格	希望価格
1	デンキオーブン		相談で
2	ビデオデッキ		相談で
3	掃除機		相談で
4	ポータブル発電機	スズキ650W	5,000円
5	アップライトピアノ	カワイ	無　料
6	ランニングマシーン		無　料
7	健康器具		無　料
8	液晶カラーワープロ	シャープ WJ-C900	10,000円
9	ワープロ	シャープ書院 昭和62年製	無　料
10	蛍光灯内蔵所作机		5,000円
11	はがきカラープリンター	NEC	無　料
12	ベビーバス		無　料
13	ふろ桶・かま	1人用	無　料
14	灯油タンク	490ℓ	相談で
15	バイク	ジール250	100,000円
16	ベビーベット	木　製	無　料
17	50ccバイク		20,000円
18	ダンロップタイヤ	195/65R-15 新品同様	15,000円

ゆずってください……

番号	品　名	規　格	希望価格
1	ベビーベット		無　料
2	ベビーラック		無　料
3	A型ベビーカー一式	折りたたみ式	無　料
4	冷蔵庫	80～100ℓ	5,000円まで
5	洗濯機		5,000円まで
6	洗濯機	2層式	3,000円まで
7	ゆかた・半幅帯	年輩女性用	相談で

～秋の一日、さわやかな汗を流しましょう！～

第37回市民スポーツ大会

期　日	大　会　名	会　場	事務局・電話	
10月5日㈰	相撲競技大会	武道館　相撲場	庭野豊正	090-2415-6831
	第39回市民体操競技大会	十日町高校東体育館	高橋大和	68－2397
10月12日㈰	ソフトテニス大会	信濃川運動公園テニスコート	湯沢一彦	57－9166
	ソフトボール大会	信濃川運動公園野球場（Aコート）	高澤政弘	090-4833-1512
	テニス（シングルス）大会	総合公園庭球場	山口　裕	57－8030
	第4回フットサル大会	ベルナティオ フットサルコート	佐藤和彦	090-1114-6014
	市民ハイキング「信州・飯縄山（飯綱山）」	市役所（集合）	松岡東二	57－0950
10月13日㈷	2003十日町RUN・ランリレーカーニバル	陸上競技場周辺	宮沢邦元	57－3111（内線269）
	小学生野球大会	笹山野球場・信濃川運動公園野球場青少年運動広場	小林　聡	57－9383
	第16回400歳野球大会			
	空手道競技会	十日町小学校	西野弘幸	57－8339
	剣道大会	武道館　剣道場	波形陽一	57－1177
	第17回市長杯争奪ゲートボール大会	水沢運動公園	高橋昭三	57－2747
	第19回ジュニアバドミントン大会	十日町中学校	飯塚聖一	58－2662
	第32回郡市柔道大会	武道館　柔道場	村山　潤	52－2445
	卓球大会	市民体育館	南雲和幸	57－3111（内線269）
	バスケットボール競技会	十日町高校東・西体育館	藤巻　裕	57－3111（内線253）
	パパママバレーボール大会	総合体育館	田川直樹	090-3645-4200
10月19日㈰	秋季市民バドミントン大会	総合体育館	飯塚聖一	58－2662

●**申込み・問合せ**　9月26日㈮までに各事務局または総合体育館（☎52－4377）へ

まちの文化財

妻有の宝物 ⑱

市指定文化財／彫刻／木造　聖観音立像　一躯

市内牧新田にある牧脇観音堂に、本尊として祀られる聖観音像です。保存状態もよく端正な像で、仏像調査の結果、戦国時代末期ころに製作されたと考えられています。像高は87・5㎝、髪際高76・5㎝、台座全高22㎝で、寄木造。肉身を現さない着衣の聖観音像ですが、この様式は鎌倉時代に入宋僧によって採用されて以来、各地に造立されています。少し顎のはった平滑な面に細く見開く目や、やや厚い上唇をもつ整った面貌を持ち、形式に則りながらしっかりとまとめられていて堅実な作風が感じられます。

元亀3年（1572）の縁起が残されていますが、調査によりこのころの製作の可能性が高いと判断されました。

市内には江戸時代以前の仏像は極端に少なく、遠く古代にまで遡る神宮寺の本尊と脇侍二天王像以後、江戸時代までの500年間を埋める仏像は数件しか確認できていません。江戸時代に近いとはいえ、この仏像は中世末の貴重な資料です。（文化財課）

編集後記

◆今号では、市民や作家、こへび隊など参加者の声をもとに第2回大地の芸術祭を振り返りました。皆さん熱く語ってくれ、紙面には一部しか掲載できませんでしたが、印象に残る言葉はたくさんありました。「自然がけた外れに美しく、一流の景色だ」「上から見ると屋根のリズムがすごい」など普段我々が気づかないことも耳にしました。また、若い人たちは「自分で行動を起こすことのきっかけになった」「目に入るものすべてが作品に見えた」など目を輝かせて言いました。何よりも印象に残ったのは「学校にあかりがともりうれしい」「にぎやかで楽しかった」といった若い学生たちやこへび隊と協働し交流した市民の言葉でした。芸術祭は、かかわった人すべてにとって、かけがえのないものになったことでしょう。しかし芸術祭は、あくまで地域活性化の起爆剤です。きっかけであり、これからが始まりです。幸い、ヒントは協働や交流から生まれ、作家やこへび隊や学生たちが残してくれたように思います。地域に作品ができ、よその人が来て、思い出が残っただけの芸術祭では、なかったはずです。（玉）

市民の動き

8月末現在（　）は前月からの増減

■人　口	43,152人	（－44）
男	21,104人	（－18）
女	22,048人	（－26）
■世帯数	13,236世帯	（－11）

■発行/十日町市役所　〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地　TEL0257-57-3111 FAX52-4635
Email　info@city.tokamachi.niigata.jp　URL　http:/www.city.tokamachi.niigata.jp
■編集/企画人事課広報広聴係